

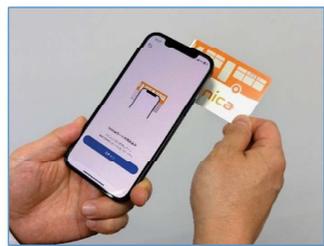
2. バス事業者の取組み

2.1 スマートフォンからチャージできる『hanica アプリ』の導入

- ▶ 阪急バス・阪神バスで利用できる IC カード「hanica(ハニカ)」について、スマートフォンからチャージできる新しいサービス『hanica アプリ』の取扱いを、令和 7 年(2025 年)11 月 27 日(木)より開始しています。
- ▶ これまでは、阪急バスの窓口や hanica チャージ機、バス車内でチャージを行う必要がありましたが、本アプリにより“いつでも・どこでも”スマートフォンをかざすだけでチャージが可能となりました。
- ▶ なお、本サービスはスマートフォンのリーダー／ライター機能を活用し、非接触 IC カードにスマートフォンをかざすだけで情報の読み書きができる仕組み※を用いています(※スマートフォンを運賃箱に直接かざして乗車することはできません)。

※ソニー株式会社が開発した非接触 IC カード技術「FeliCa™」を採用

○『hanica アプリ』のロゴマーク



◀「スマホにカードをかざしてチャージ」
※スマホを直接かざしての乗車はできません。

サービス概要

- ▶ 対応カード IC カード「hanica(ハニカ)」
- ▶ 対応機種 FeliCa 対応スマートフォン(Android 10 以上/iOS 13 以上)
※一部ご利用になれない機種がございます。
- ▶ 決済方法 クレジットカード
(VISA/Mastercard®/JCB/American Express/Diners Club)
※同ブランドのデビットカードも含まれます。
- ▶ チャージ単位 2,000 円/3,000 円/5,000 円/10,000 円
- ▶ 利用料金 無料(通信料はお客様のご負担となります)

サービスの特長

いつでもどこでもチャージできます

- ◇ クレジットカードをアプリに登録すれば、スマートフォンからその場で即時チャージが可能です。窓口やチャージ機等に並ぶ必要がなく、外出先でも思い立ったときに残額を追加できます。

家族のカードにもチャージが可能です

- ◇ ご自身のカードに加え、ご家族(お子さまなど)の hanica カードも同一アプリでまとめて管理できます。最大 5 枚まで登録でき、残額確認やチャージもまとめて行えるため、お子さまに現金を受け渡す必要などもなく安心してバスをご利用いただけます。

残額・履歴も確認できます

- ◇ アプリ上で、カード毎の残額やチャージ履歴、利用履歴をいつでも確認可能です。利用状況を見える化し、日々の支出管理や家族のカード管理をスムーズに行うことができます。

ご利用の流れ



Ohanica(ハニカ)について



- ・hanica は、阪急バス・阪神バスでご利用いただけるチャージ式の IC カードです。
- ・チャージ金額の 8%分がプレミアとして付与されるため、現金よりお得にご利用いただけます。
- ・また、記名式カードは、紛失や破損時にも再発行が可能です。

出典：阪急バス株式会社・阪神バス株式会社 ニュースリリース記事(2025 年 11 月 27 日)

2.2 リアル謎解きゲーム「大阪豊中謎解き街歩き～未完成のキャンバス～」の開催

- ▶ 阪急バスと地域密着型情報サイト「TNN 豊中報道。2」は、豊中市を舞台としたリアル謎解きゲーム「大阪豊中謎解き街歩き～未完成のキャンバス～」を、令和7年(2025年)3月24日から12月31日まで開催しました。
- ▶ 大阪～豊中エリアにある14書店で販売する謎解きキットをもとに、豊中市内の阪急バス沿線を周遊しながら暗号や謎を解き進める体験型のゲームイベントで、参加者は物語の主人公となって謎の真相に迫るストーリーを楽しむことができます。
- ▶ 期間中は、バス移動に便利な「阪急バス謎解き1日乗車券」を、阪急阪神ホールディングスが提供するスマートフォン向けアプリ「HH cross TOWNS」で販売しました。

●イベント概要・参加方法

- 開催期間:令和7年(2025年)3月24日(月)～12月31日(水)
- 開催エリア:阪急バス 豊中市内線沿線
- 参加方法
 - ・謎解きキットを指定書店で購入
 - ・スマートフォンを使用
 - ※LINEアプリが使用でき、二次元コードの読み取りが可能なスマートフォンが必要
- ゲームの進め方
 - ・謎解きキットの情報をもとに阪急バスに乗りし、謎解きスポットを周遊します。
 - ・各スポットで謎を解き進め、ゴールにたどり着くとゲームクリアとなります。

●謎解きキット



●阪急バス謎解き1日乗車券(デジタル1日乗車券)

- 販売価格:大人 750円 小児 390円
- 販売期間:令和7年(2025年)3月24日(月)～12月31日(水)
 - ※購入日から28日後まで利用日として設定可能
- 利用可能区間:阪急バス 豊中市内線および周辺の一部区間
- 購入・利用方法:デジタル乗車券の取扱いをはじめ、阪急阪神沿線のおでかけを快適にする機能を搭載したスマートフォン向けアプリ「HH cross TOWNS」でデジタル1日乗車券を購入・利用

HH cross
TOWNS



出典:阪急バス株式会社ホームページ

3. 鉄道事業者の取組み

3.1 「大阪モノレール&北大阪急行エキタグスタンプラリー」の開催

- ▶ 大阪モノレール株式会社と北大阪急行電鉄株式会社は、公共交通機関の利用促進を目的に、駅スタンプアプリ「エキタグ」を使用した「大阪モノレール&北大阪急行エキタグスタンプラリー」を令和7年(2025年)7月18日から10月13日まで開催しました。
- ▶ 対象6駅すべてのスタンプを集めた方には、コンプリート賞として両社の駅名標をモチーフとしたデジタル3Dフィギュアをプレゼントしています。

●イベント概要

○開催期間:令和7年(2025年)7月18日(金)~10月13日(月・祝)

○デジタルスタンプラリー対象駅

<大阪モノレール> 大阪空港駅、千里中央駅、万博記念公園駅

<北大阪急行電鉄> 箕面萱野駅、千里中央駅、緑地公園駅

○スタンプデザイン

大阪モノレール		
大阪空港駅 	千里中央駅 	万博記念公園駅 
北大阪急行電鉄		
箕面萱野駅 	千里中央駅 	緑地公園駅 

【参考】駅スタンプアプリ「エキタグ」とは

駅などに設置された専用のNFCタグに、エキタグアプリをダウンロードしたスマートフォンをタッチすることで、設置された場所のスタンプをアプリ内のデジタルスタンプ帳で収集することができるアプリサービスです。

<大阪モノレール・エキタグ設置・18駅>

大阪空港、蛸池、柴原阪大前、少路、千里中央、山田、万博記念公園、宇野辺、南茨木、沢良直、摂津、南摂津、大日、門真市、公園東口、阪大病院前、豊川、彩都西

<北大阪急行電鉄・エキタグ設置・5駅>

箕面萱野、箕面船場阪大前、千里中央、桃山台、緑地公園

※北大阪急行電鉄は2025年7月18日(金)にエキタグを導入いたします。



※「エキタグ」および「デジタル駅スタンプ」は、株式会社ジェイアール東日本企画の登録商標です。

出典:北大阪急行電鉄株式会社ホームページ(令和7年(2025年)7月10日記者発表資料)

3.2 阪急×阪神×北急 リアル謎解きゲーム「ナゾときっぷ 2025」の開催

- ▶ リアル謎解きゲーム「ナゾときっぷ 2025」は、参加者が阪急電鉄・北大阪急行電鉄・阪神電車に乗り、各駅周辺に仕掛けられた謎を解きながらゴールを目指す、人気の体感型ゲームイベントです。
- ▶ 阪急電鉄では令和7年(2025年)3月19日(水)から12月25日(木)まで、北大阪急行電鉄では4月18日(金)から12月25日(木)まで開催しました。
- ▶ 前作「ナゾときっぷ 2024」からさらにパワーアップした内容となっており、阪急編・阪神編・北急編の3部構成で実施されています。全編の謎を解いた方には、ボーナスステージとして完結編が用意されています。また、いずれか1編のみでも楽しむことができます。

●イベント概要

「謎解きキット引換券付きデジタル1日乗車券」をスルッとQRttoオンラインサイトでご購入し、キット引換のうえ、記載の指示に従って、各駅周辺に仕掛けられた謎を解きながらゴールを目指す体感型のゲームイベントです。

○開催期間

<阪急編> 令和7年(2025年)3月19日(水)~12月25日(木)

<北大阪急行編> 令和7年(2025年)4月18日(金)~12月25日(木)

<阪神編> 令和7年(2025年)4月12日(土)~12月25日(木)

<完結編> 令和7年(2025年)4月18日(金)

~令和8年(2026年)1月31日(土)

○謎解きキット引換券付きデジタル1日乗車券

・販売場所:スルッとQRttoオンラインサイト(<https://surutto-qrtto.com/>)

・販売価格:阪急編 2,800円(税込)、阪神編 2,700円(税込)、北急編 2,400円(税込)

○対象エリア

・各編ともに公開されていません。謎解きキットを手に入れるまでは分からない仕組みになっています。



出典:北大阪急行電鉄株式会社ホームページ(令和7年(2025年)3月5日記者発表資料)